

天下を司る人は、天下を救い養う役なり。

「天下を司る人は、天下を救い養う役なり。

然る則は、わが身の苦は、天地に溢るる程こそあるべけれ」

足利尊氏「等持院御遺書」

——トップは人のために尽くすもの——

政治を行う者は、人々を救うのが、役目である。

だからこそ、自分自身の苦勞は、溢れるほど、多いはずである。

さらに足利尊氏は、

「人の頂点に立つほどの人が、人を苦しめて私利私欲を満足させるには、不義の極まった行いである」

と諫めている、

政治家のみならず、トップに立つ者は、他人に献身的な部分がなくては勤まらない。